

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Kid's TECH cap.MIKAGE		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日	～	2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 45名	(回答者数)	38名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日	～	2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	好きなことを通じたIT(プログラミング)療育	児童のニーズや発達段階に応じ、パソコンに触れる機会を持つことでスキル向上を目指している。スキルを身につけ「できた」から「できる!」の自信へつながるような支援を行っている。得意なものを見つけ伸ばしていけるようなカリキュラムを提供している。	提供内容については、ゲーム性のあるものを使用し楽しんで活動をしているうちに身につけてもらえるような工夫をしている。また特性に応じた取り組み方法をスタッフで検討しながらスモールステップで取り組めるよう促している。
2	児童が楽しく安心して通える環境づくり。わかりにくいものやあいまいなものはさけ、わかりやすく視覚化重視のレイアウト	教室内の提示物や説明をするものなどは、あいまいな表現をせず、視覚化しわかりやすい表現をするように工夫している。また余計なものは提示しないようにし、集中力を高められるような環境を作っている。	見通しをつけられるよう最初に流れの説明を行い、なにをしたらいいかと不安にならないよう、スタッフが細かな声掛けを行い取り組んでいただいている。また切り替えなど難しい場合もあるため、切り替えやすいよう時間を視覚化したり声掛けを行っている。
3	コミュニケーションスキルや社会性の向上	1人1台のPCを使用できる環境を整えているが、PCを使用しない時間も作り、定期的にグループワークなどを行っている。土曜日はイベントの日とし、遠足やLST(買い物体験や職業体験、クッキングなど)を行っている。	グループワークでは、KJ法などを使用し、発言しにくい児童も意見が出せるように工夫をしている。土曜日には、様々な体験をし、楽しさを通じて将来のためになる練習を行っている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校などの他機関との連携	登録人数が多いこともあり、すべての児童で行うことが難しい。	スタッフの増員にて担当を割り振り、優先度を考えながら他機関との連携を図っていく。
2	保護者会などの家族交流や地域交流の機会が少ない	子どもたちへの療育を優先し、左記計画に時間が確保できていない。	保護者会などを年間計画に取り入れ、計画的に行えるようにしていく。地域交流については、市町村や公的団体などに交流方法の助言を求めたい。